

厳選良問

～ 認知症の頻出内容を凝縮した良問 ～

分野	医療・心理系分野	出典	ケアマネ試験(第20回-問題31)
----	----------	----	-------------------

==== 問題 =====

問題 認知症について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 BPSD(認知症の行動・心理症状)は、一般的に認知症が進行するほど重症化する。
- 2 血管性認知症では、適切な治療やリハビリテーションにより、認知機能が改善した例もある。
- 3 レビー小体型認知症は、幻視が特徴的で、払いのけたり、逃げるような動作を伴う。
- 4 アルツハイマー型認知症の治療薬は、易怒性などの興奮性のBPSD(認知症の行動・心理症状)を悪化させる可能性がある。
- 5 慢性硬膜下血腫による認知機能障害は、慢性化しているため、血腫を除去しても回復が期待できない。

==== ポイント&解答 =====

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★	★★★	★★★	★★★	★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

「認知症」は、近年、どの福祉資格でも必ずといっていいほど出題されている重要な内容です。選択肢3と選択肢5は、これまでの試験でも頻繁に出題されている内容ですので、しっかりと理解しておいた方が良いでしょう。

問題自体はとても簡単で、「例もある」や「可能性がある」といった表現は「×」になりにくいです。理由は「全部調べるのが面倒で、嘘はつけないから」だといえます。特に病気は、まだまだ未知数な部分もあるので、ほとんどの内容で「～の可能性がある」が当てはまるでしょう。

逆に選択肢5は、「期待できない」と言い切ってしまうので、1人でも回復した人がいたら「×」になるはずなので、非常に「×」になりやすい選択肢だといえます。

こんな感じで選択肢を捉えていくと、比較的容易に正解にたどり着けるかと思えます。

解答 2, 3, 4

